



古民家をなぜ保存するのか・・・何年か前の小学生からの問いです。古民家を観察すると、わが国の季節の豊かさとそれを巧みに利用してきた知恵や思想を知ることができます。そしてそれは決して過去の遺物ではなく、現代や将来の人や社会の在り方をも示唆しているようにも思えます。

ところが左の写真の状況を見ると、一体これからどうなるのだろうという危惧も感じざるを得ません。この夏、大間野町旧中村家住宅では雨戸の真鍮製レールが酷暑のために曲がってしまいました。平成16年(2004年)の開館以来初めてのことです。

これまで四季の特徴やその移り変わりは当たり前のこととされてきたことが、これからはそうではなくなってしまうのでしょうか・・・

今号では四季の特徴を生かしてきた古民家を訪れた留学生の様子をご紹介します。

## 外の国から古民家を観ると・・・

11月初旬、市内の文教大学に留学している学生16名が旧東方村中村家住宅に来館しました。出身国は中国9名、韓国2名、タジキスタン2名、スリランカ1名、ドイツ2名でした。皆さん日本語が堪能で、職員の説明を熱心に聴いてくださいました。

### 【見学の概要】

\* 綿(綿)・・・当館では和綿と洋綿を栽培していて、ちょうど綿毛が露出している様子を見てもらいました。中国、韓国、タジキスタンでは綿花生産が盛んです。特にタジキスタン国旗の白色部は綿花を表しているとのことです。同国留学生は「自国で栽培しているのは洋綿です」と指差しました。

\* 古民家の特徴・・・建材の多くは植物で、300年保つように建てられていること。多湿・多雨に耐える柱、特に根継ぎには皆さんが興味を示していました。また、腐食防止に柿渋を塗布したことを話すと、特にタジキスタンやドイツの学生は驚きの表情をしました。彼の地には柿はあまり見られないのです。土間の床は石と思った学生が多かったようです。使われている木材とその役割、文字通りの適材適所という用法にも興味を持ったようでした。いくつかの接ぎ木の見本も手に取って確かめてもらいました。

## 「Amazing! (驚き、見事)」 ～留学生の感想～



留学生が日本語または英語で応えてくれました。一部を改め、英文は日本語にてご紹介します。( )内は出身国です。

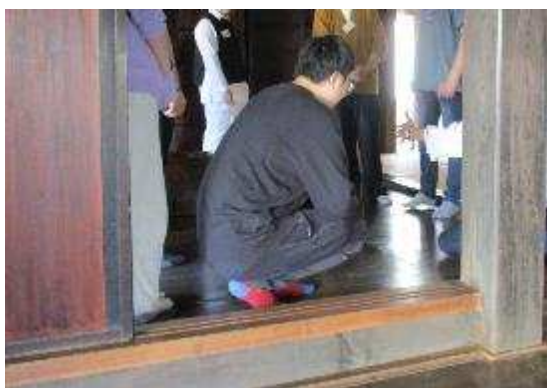
★この木製の家がとてもよく保全されてきたことに驚嘆しています。(中国)

★中村家住宅の構造に衝撃を受けました。床(土間)を作っている材料が粘土や石灰、にがりということも。それらは驚くべき見事な仕事だと思います。

(スリランカ)

★(来館して) その時代に行った感じがしました。

(タジキスタン)



- ★韓国の伝統の住宅と似ている部分が多いですけど、日本の住宅は夏に備えて準備したものが目につきました。夏の間はとても涼しいだろうと思いました。(韓国)
- ★歴史や文化の重みを感じました。それが時代を超えて残っている建築物は、過去の人々の足跡や知恵が詰まっているように思えます。(中国)
- ★心から古人の知恵に感心させられました。3種類の土で作られる床と、リベットを使わず建材だけで組み合わせたもの、すごく不思議だと思います。(中国)
- ★部屋の中に韓信

の絵があることに驚きました。(中国)

- ★伝統的な住宅建築技術を教えてもらったのがとてもよかった。

(ドイツ)

- ★私は古い日本の建築物が好きですが、この住宅はかつて人々がどのように暮らしたかを表しています。多くの説明にとっても興味を覚えました。(ドイツ)

- ★韓国と同じような部分があって面白かったです。広い畳の部屋を見たのが初めてで、本当に良かったです。(韓国)



## 他言語を学ぶ意味

留学生の皆さんに、日本のどんな文化に興味を持ったのかを尋ねてみたところ、次のように応えてくれました。

食べ物と料理法、ラーメン、アニメ、映画、寺院、神社、狐、鬼、歌舞伎、歴史、着物、茶道、ひな祭り、伝統的な音楽と楽器、能、伝統的な建物、ポップカルチャー

「日本語は難しいですか?」と尋ねると、皆さんそろってうなずきました。特に敬語(丁寧語、尊敬語、謙讓語)が「ムズカシ〜」とのことでした。けれども、このような日本の文化を深く知るために日本で日本語を学びたいと来日したのです。ある国や民族の固有の、あるいは特徴的な文化を極めようとする際、その言語から学ぶことはとても大切なことですね。留学生が来日して研究することは、わが国にとっても学びが深まることになるでしょう。国や民族を越えて若者たちが互いの文化を学び合うことは、将来さらによりよい世の中をつくっていく下地になるのではないのでしょうか。

## 寺子屋から近代学校へ

今年市内の8小学校で開校150周年を迎えました。そこでその記念展示を第一部、第二部と行ってきましたが、先日より第三部を開催しています。寒い中ですが、どうぞご来館ください。

市内小学校開校150周年記念展示

越谷から見た近代教育 『第三部 近代学校の夜明け前』

- ◆令和5年(2023年)12月16日(土)~令和6年(2024年)1月22日(月)  
休館日:12月20日(水)、27日(水)、29日(金)~1月3日(水)、1月10日(水)、17日(水)
- ◆於:旧東方村中村家住宅 越谷市レイクタウン9丁目51番地(期間中は入館無料)
- ◆第1章 地域の寺子屋 第2章 近代的学校の始まり 第3章 中村培根とその時代